

第 18 回 65 期テニスの集い(2017 年 10 月 28-29 日)

秋色の絨毯が程良く敷かれ、樹々もすっかり色づき軽井沢 XIV は何ひとつ変わる事無く静かに迎えてくれました。

布施(6組)、原田(3組)、関(2組)、若柳(4組)、佐藤(7組)、宮沢(10組)、浅倉(4組)、塩川(6組)、中山(11組)、内堀(6組)の参加者総勢 10 名はとりあえず体調も万全で、秋空の下でコートを駆け回る……筈でした。

ところが台風 22 号は 28 日午前 10 時に沖縄に上陸し、29 日にはかなりの広い範囲で雨、風の模様。最近の天気予報はかなり当たります。幸い何とか近くにあるインドアコートでナイターテニスを 2 時間程プレー出来ましたが、到底このくらいでは納得できるわけ無いですよ。

残念な気持ちを抱えたまま軽井沢 XIV の四川料理店「翠陽」にて食事会が始まりました。乾杯の後、布施幹事より、この会の当初の目標は 70 歳の古稀迄読きたいという強い思い、そしていよいよ来年に達成出来るとの報告。まだまだ余裕でいけそうですね。

又、布施さんから最後の上田藩主松平忠固を知らしめるイベントのパンフレットを頂いた。上田城といえ、真田家、余りに有名過ぎて松平忠固は誰にも知られて無いのは当然とはいえお気の毒。

そうこうしているうちに宴たけなわ、恒例の「ためになる」話題で盛り上がり、ひとりが浮き気味の話しを始めると、すかさずキレキレの突っ込み、私個人的にはこの突っ込み好きです。そして最後まとめに困ると、ところで教授は？ どう思う？ となる。原田さんは最終デフェンスラインか！ でもこの会の嬉しいところは、この年代に有りがちな病院、病気、保険、年金などの話題が少ない事です。デザート胡麻団子が出ると終わりも近い。気の毒な事に一生懸命料理の説明をしてくれるスタッフの話しを全く聞いてない。白菜のスープですと言っているのに、「この玉ねぎのスープ美味しい！」等と。

今回は残念ながらテニスのお話が出来ず残念ですが、初めて皆様のテニスを見たときは、驚きました。まあまあどころかとてもお上手。シングルハンドのバックのクロス、ラインギリギリに落ちるフォウハンド、絶妙なロブ、サービスもそこそこ速いし(めっちゃ上から目線)さすがお勉強出来た皆様だけに真面目。聞いた話しですが、最近は大熟期に入りドロップ等を使いせこい(あっ失礼!)お洒落なスタイルに変わられたとか。

さて、薄々お気づきづきでしょうが、このレポートを書いている私ですが、1 名を除いて他の方々とは、全く関係ありません。上田高校の卒業生でも無く、長野県生まれでも有りません。ただちょっとした縁で食事会に参加させていただいてるだけの高齢のおばさんです。まあ来年は記念の年で、今年は消化試合みたいなものだからと私に無茶振りされたんでしょう。大変稚拙な文章、不適切な言葉、一切責任負いません。「暇も有り老いて益々上達す」(関 作)応援してます。

2017.10.31 謎のおばさん記

次ページに写真



28日夕刻、室内コートでの試合を終えて
前列左から 内堀、宮澤
後列左から 佐藤、関、布施、原田、浅倉、若柳



翠陽にて
前列左から 若柳、宮澤、浅倉、布施、関、原田
後列左から 内堀夫人、塩川、中山、内堀、佐藤